

日本農業研究シリーズ No.22

米の流通、取引をめぐる新たな動き(続)

〈米の流通構造の変容および米取引、流通をめぐる新たな動きに関する研究会報告〉

平成27年6月

公益財団法人 日本農業研究所

刊行のことば

コメの流通や価格形成に政府が関与していた時代と異なり、それらに関する情報の各市場当事者の私的情報 (private information) 化の度合いが強まり、研究者を含め部外者にとってアクセスが難しくなっている。例えば、政府は、4つの改革の一環としてコメの生産目標の配分の廃止等を打ち出しており、それが市場にいかなる所産 (output) をもたらし、国民厚生 (生産者及び消費者余剰) 上どのように評価されるか等の問題に関し、予測や解明をするに当たって研究者に期待されるものが多いと考えられる。しかし、関係学会誌にコメの流通・価格を主題とする論文が掲載される頻度はごく少ない。これには、関連する情報の収集に相当の時間と労力を要し、市場当事者でない者にとって取引の実情が詳らかにならないという事情が背後にあると考えられる。

このため、日本農業研究所では、2013年7月から2015年3月にかけて、13回にわたり、小澤健二研究員を主査として「米の流通構造の変容—米流通、取引の新たな動き」研究会を実施した。2013年度の研究会の成果は、日本農業研究シリーズNo.21「米の流通、取引をめぐる新たな動き」としてすでに刊行している。本報告書は2014年度の研究会の成果をとりまとめた、昨年度の報告書の続編に相当する。米の流通、取引は、現在、変化の渦中にある。そのような状況下で、本報告書が米の流通、取引に関して一定の情報を提供し、また関係研究者がこの分野の研究を進める際の参考に資すれば幸いである。

本研究会では、コメの流通、取引をめぐる新たな動きに関して、それぞれの専門家からご報告いただくとともに、委員等のメンバーには研究会に参加し、活発な討論をしていただいた。報告書の刊行に当たり、ご協力いただいた多くの方々に心から御礼を申し上げたい。

平成27年6月

公益財団法人 日本農業研究所
理事長 田家邦明

目 次

はじめに

第 I 部 個別報告

第 1 章 米関連政策を振り返る—「米政策改革大綱」以降を中心に—

生源寺眞一 …………… 7

はじめに

- 1 生産調整研究会と「米政策改革大綱」
- 2 自民党主導による政策見直し
[補論] 生産調整をめぐるシミュレーション
- 3 戸別所得補償制度と選択的な生産調整
- 4 急浮上した「減反廃止」
- 5 むすびに代えて

第 2 章 新しいコメ流通構造に対応した精米事業の実態

米田 実 …………… 21

はじめに

- 1 精米事業の変遷と卸売精米の展開
- 2 品質管理の高度化
- 3 精米業の各々の工程の特徴—品質管理と関係する—
- 4 精米と法令による規制（生鮮食品と加工品のはざま）
- 5 精米事業の新しい動き

おわりに

第 3 章 系統米穀事業の問題と将来方向—その現状と課題を中心に—

大貝 浩平 …………… 33

はじめに

- 1 米の全体的な需要動向とニーズの多様化

- 2 業務用の食材としての米の単価など
- 3 米の流通制度の変化と系統農協の米穀事業
- 4 系統農協の米事業をめぐる新たな動き
- 5 系統米穀事業の将来方向

第4章 中食業界から見た米流通取引を巡る新たな動き

福田 耕作 …………… 43

はじめに

- 1 24年度の米需給の逼迫と中食業界が直面した経営問題
- 2 「国産米使用協議会」の組織化と中食業界の市場規模
- 3 全農主導の米価決定方式の問題
- 4 「複数年産コメ市場」の開設

第5章 ブランド米「つや姫」の産地形成および販売促進をめぐる動きについて

小松 伸一 …………… 53

- 1 「山形97号（つや姫）」ブランド化の背景
- 2 「山形97号（つや姫）」ブランド化戦略
- 3 「山形97号（つや姫）」デビューに向けた主な取り組み
- 4 その後の山形つや姫ブランド化戦略の動き

第6章 コメ政策の行方を展望すれば…変革を迫られる農政

渡辺 好明 …………… 61

はじめに

- 1 地域社会、農業構造の変化
- 2 コメの生産調整見直しの方向性
- 3 農産物の需給均衡は「競争」を通じて、自己の判断・責任で
- 4 コメの需給と価格の動向
- 5 市場の整備と情報の提供
- 6 求められるコメ政策の転換

- 7 今後の展望
- 8 「農業・農村の所得倍増」とは

第Ⅱ部 全体討論および主要論点の整理

第1章 全体討論—米の流通、取引をめぐる新たな動きを考える— … 71

- 1 論点提示
- 2 討 論

第2章 補論—コメの産地銘柄間の価格変動の特徴について

矢坂 雅充 …………… 113

はじめに

- 1 コメの産地品種銘柄の価格情報
- 2 産地品種銘柄間の価格相関
- 3 まとめ

第3章 主要論点の整理と残された課題—研究会を振り返って—

小澤 健二 …………… 129

はじめに

- 1 米関連政策の米流通・取引への諸影響
- 2 主食としての米の優位性の喪失—それを生み出す諸条件—
- 3 「米市場」の構造およびそれに関わる諸問題
- 4 残されているいくつかの課題

日本農業研究シリーズ既刊書

No.21 「米の流通、取引をめぐる新たな動き」 平成26年6月、B5、78頁。

No.22 「米の流通、取引をめぐる新たな動き」(続) 平成27年6月、B5、144頁。

「米の流通、取引をめぐる新たな動き」(続)
ホームページ (<http://www.nohken.or.jp>) に掲載

平成27年6月 印刷

平成27年6月 発行

編集・発行 公益財団法人 日本農業研究所
本 部 東京都千代田区紀尾井町3番29号
電 話 03-3262-6351 〒102-0094
FAX 03-3262-6355

実験農場 茨城県つくば市稲荷原2-1
電 話 0298-76-0111 〒300-1259
FAX 0298-76-0945

印刷・製本/株式会社ファイブ